

コロナ禍の中で進捗する情報教育

富山県教育委員会県立学校課
指導主事 牧田 洋一郎

富山県高等学校教育研究会情報部会の研究紀要第 17 号発行にあたり、会員の皆様におかれましては、日頃から本県情報教育の改善・充実に多大なご尽力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年度末から教育活動に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、現時点でも収束の兆しが見えておりません。臨時休業により生じた学習の遅れへの対応、校内の感染防止対策等、学校現場では新たな業務が生じました。情報の授業でも、例えば、①各座席間に仕切り板を設置する、②40 人を 2 班に分けて 1 時間ずつ利用する、③使用時にキーボードをラップで覆わせて利用させる等、PC 教室での生徒同士の接触・密集状態の回避やコンピュータの共用に際し、各校で様々に対応していただいたと伺っております。今後も、共用の教材・教具・情報機器等を使用する場合には、触る前後で手洗いや除菌行為を徹底させる等、配慮をお願いいたします。(なお、適切な消毒方法が不明な機器については無理に消毒せず、手洗いを徹底させてください。)

また、ご存知のとおり、遅くとも来年度夏頃までには高等学校の生徒・教員へ 1 人 1 台の Windows タブレットが貸与されることから、Microsoft 365 Apps や、G suite 等教育用クラウドサービスを利用することで、PC 教室のコンピュータだけではない授業展開が可能となりますので、是非ご活用いただきたいと思います。

次に、令和 4 年度の学習指導要領改訂に関してですが、令和 3 年 1 月 7 日付け県第 552 号でご案内したとおり、令和 3 年度に新科目「情報 I」のプログラミング研修を開催することとし、併せて、研修で使用するプログラミング教材の 1 年間ライセンス（令和 3 年度中の利用が可能）を提供します。教材の詳細については、各校に案内済みの資料を参照いただきたいと思いますと思いますが、今年度県内のいくつかの学校で実践されているものです。

研修については、第 1 回を 5 月（2 時間程度）、第 2 回を 7 月（2～3 時間程度）に開催予定としております。各教材とも業者が手配した講師によるオンライン研修とし、実際にプログラミングしていただくほか、当該単元の授業計画や学習指導案についても触れていただくことにしております。(なお、この研修は県教委が教材の導入を勧めるものではないことにご留意ください。)

「情報 I」については、未来投資戦略など各種閣議決定文書において、令和 7 年 1 月の大学入学共通テストから出題することの検討に関する記載があり、今後どのように検討されていくのか大変気がかりなところです。

そのような中、(独)大学入試センターは、昨年 11 月に検討用イメージとして共通テストの試作問題を作成しました。(一社)情報処理学会 HP にある「教育・人材育成」ページからダウンロードできますので、指導の参考として是非ご確認ください。

さらに、同年の共通テストについては、従来の PBT(紙で実施する試験)で行うことを基本としつつ、CBT(コンピュータ等で実施する試験)に関する調査研究の状況を踏まえ検討するとされており、これについても注視する必要があります。

今後とも、国の動向等につきまして、先生方への情報提供に努めてまいります。

最後になりますが、本会のさらなる充実・発展と関係各位のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます、激励の言葉といたします。